

チベット現代文学フェス

場所 新宿歴史博物館 講堂(2F)

東京都新宿区三栄町22番地 ● 東京メトロ丸ノ内線「四谷三丁目駅」より徒歩8分 ● 都営新宿線「曙橋駅」より徒歩8分

無入場

●ただし事前申し込みが必要です。

邦訳書刊行10周年



2022年はチベット語で書かれた現代文学の邦訳書が刊行されて10年の節目の年です。これを記念して、新宿歴史博物館にて「チベット現代文学フェス2022」を開催いたします。一緒に映画を観たり、冊子『チベット文学と映画制作の現在』(SERNYA(セルニャ))について語り合ったり、翻訳者とともに邦訳作品を味わったり。読者のみなさんはもちろん、海外文学好きな方、チベット文学に触れたことのない方も、普段あまり小説は読まないという方にも楽しんでいただけるイベントですので、ふるってご参加ください。

注意事項 咳、のどの痛み、発熱など、体調の悪い場合や、感染の可能性がある場合などは参加を控えていただきますようお願いいたします。

●参加費には、新宿歴史博物館の注意事項「ご来館のお客様へのお願い」をお守りいただけますようお願いいたします。(ただし、博物館の「乗船券」への氏名及び連絡先電話番号は、お申し込み時に記入いただくためご不要です。)
●お知らせまたはご記入いただいたお名前と連絡先電話番号は、必要に応じて保健所等の公的機関へ提出させていただきます。
●会場での喫煙、許可のない録音、録画、撮影はできません。
●博物館入口での検温・消毒をお願いします。
●会場内では常にマスクを着用の上、感染防止対策にご協力をお願いいたします。協力していただけない場合は、参加をお断りさせていただきます。
●講堂内に限らず、館内での会話はできる限りお控え下さい。
●イベントのキャンセルは、他の方のご迷惑と考慮される行為などがあった場合、その他、参加者や主催者に影響があると判断される場合、主催者側のお断りさせていただきます。ご参加のキャンセルは、お断りさせていただきます。ご参加のキャンセルは、お断りさせていただきます。
●参加人数には定員があり(60名)、定員に達した後はお申し込みを締め切らせていただきます。新型コロナウイルスの感染状況や出席者、主催者側の都合によりイベントを変更または中止させていただきます。ご参加のキャンセルは、お断りさせていただきます。

2022
10/8
(土)
10:00~

9:45 受付開始
10:00 開会あいさつ 星泉

チベット映画上映会



青海嘛呢石影业有限公司協賛
ペマ・ツエテン監督作品
「ティメー・クンデンを探して」

13:00 午後受付
13:20 セルニャの話をしてよう
星泉, 海老原志穂, 岩田啓介,
三浦順子, ソナム・ツェリン

14:20~14:30 朗読
14:30~16:40 翻訳者と味わうチベット現代文学

- その1 ◆ラシャムジャ著 「路上の陽光」
◆星泉・三浦順子・海老原志穂編訳 「チベット幻想奇譚」
◆ツェラン・トンドゥブ著 「黒狐の谷」
◆ラシャムジャ著 「雪を待つ」
◆ツェワン・イシェ・ベンバ著 「白い鶴よ、翼を貸しておくれ」

9:45 受付開始
10:15~12:15 翻訳者と味わうチベット現代文学

- その2 ◆トンドゥブ著 「ここにも激しく躍動する生きた心臓がある」
◆ペマ・ツエテン著 「ティメー・クンデンを探して」
◆ペマ・ツエテン著 「風船」
◆タクブンジャ著 「ハバ犬を育てる話」

12:15 閉会あいさつ

チベット現代文学フェス
参加申込フォームへ



参加お申込み方法

参加ご希望の方は10月7日までに
上記サイトより入場登録をお願いします。

来場者特典

- ご希望の方には冊子セルニャを差し上げます。10/6までに申込みフォームからお申し込みください。
- チベット料理漫画(海老原志穂・原作/蔵西・画)「身近なものでなんとかするワイルドでおいしいチベット料理」「野葱バター編」と「イラクサ編」を会場でお配りします。「イラクサ編」はこのイベントが初出しです。モモやバター茶だけではなく、実は奥深いチベット料理の世界をぜひのぞいてみてください!
- カワチエン主催の「チベット文化に触れよう」が予定されていますので、併せてお楽しみください。

企画 チベット文学研究会(セルニャ編集部) <https://sernya.aa-ken.jp>
共催 TUFUS フィールドサイエンスcommons (TUFISCO)
アジア・アフリカ言語文化研究所 基幹研究「アジア・アフリカの言語動向の記述と記録: アジア・アフリカに生きる人々の言語・文化への深い理解を目指して」(DDDling)

協賛 カワチエン・青海嘛呢石影业有限公司・書肆侃侃房・春陽堂書店
勉誠出版・東京外国語大学出版会